

No. 58

## NEWS LETTER

The Friendship Force of Aichi  
2003年12月発行

## FF 変動の 2003 年を振り返って

## スージー・スミス会長の就任にはじまり引退表明におわる

## 会長 加藤 八郎

本年度賜りました会員各位のご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。

昨年 11 月の世界大会でチップ・カーター会長並びにロザリン・カーター名誉会長が引退し、FF 本部に一時混乱が生じましたが、新しいスージー・スミス会長が就任し、FF の再生に向けて動き出し、財政困難も乗り越えて一応順調に滑り出したかに見えました。ところが、会長が結婚するため来年 4 月 1 日をもって引退するとの表明が 12 月 9 日なされました。FF にとって変動の年 2003 年は再び混迷のうちに終わりを告げようとしております。幸いにも、私たちのクラブでは多少の事柄はありましたが、今年度の行事を無事終えることが出来ました。2 月の総会にはじまり、4 月米国セントラル・アリゾナの 18 名のアンバサダーの受け入れ、長崎での日本大会へ代表 8 名の出席、5 月のオーストラリアでのアジア大会へ会員 3 名の参加、10 月のイスラエル・ラアナナの 26 名のアンバサダーの受け入れ、11 月の中部ブロック会議へ 3 名の出席、11 月の静岡クラブとの国内交流に両クラブを合わせて 40 名の参加、12 月のカナダについてのワークショップへ 50 名の出席と会員皆様の協力を得てたくさんの行事をこなしました。なお、8 月のイルクーツクへの渡航が事情で中止せざるを得なくなったことは皆様の期待にお応えすることが出来ず残念でした。

自衛隊のイラク派遣が決定され、日本も紛争にだんだん巻き込まれて行くのではないかとの懸念を拭い去ることは出来ません。今こそ FF の精神が大切ではないでしょうか。FF に早く新しい強いリーダーが現れることを願って止みません。皆様お揃いで良い新年をお迎え下さい。

## カナダとの交流を夢見て

## 星野綱市

12 月 6 日 近い将来のカナダ交流の実現をめざしてワークショップが開催された。会場に入ると真っ赤なスーツを着ている若いご婦人の姿が私の目の中に飛び込んできた。それがカナダ領事夫人ヒデコ・クハスキーさんでした。カナダの事情について詳しく丁寧に説明いただき大変面白かった。今すぐにでも行ってみたい国カナダです。お話の後にカナダについてのクイズがあった。私の出来たのは 10 問中たったの 1 問だった。大リーグで投手として活躍しているモントリオール・エキスポの大家選手でした。山と湖の国カナダは大自然に恵まれた美しい魅力的な国ですね。しかしカナダについての私の知識はあまりにも乏しいものです。我々のクラブは過去にカナダとの交流はなかった。なるべく早い機会に実現したいものです。多くの会員が集い、交流を楽しむことが出来た今年最後の盛大な会になりました。新年初夢はカナダに行った夢を見ることでしょう。

## アトランタ本部のスタッフ

12 月 9 日に FFI より入ったメールには、ショックを受けました。皆様もご同様でしょう。この何年間のアトランタ本部の入れ替わりの激しさには、アメリカ人は変化を恐れぬ人々と理解していたつもりでも、それを越えるものがありました。やっと、スージー・スミスという会長を得て、ブタペスト世界大会も成功裏に終わり、誰もがこれで落ち着いて交換活動をしていけば、組織も落ち着いてくるだろうと思ったことでしょう。それが会長の結婚による退職とは！ 昨日 FFI のスタッフの一人キャシー・トーマスにメールを打つついでに、オフィスの様子はどうかと聞きました。以下がその返事です。

“ We are shocked and devastated about Susie’s departure but we are happy for her. We are managing OK.....a lot of us have been through these changes the last few years so we have learned to accept change. ”

devastate は打ちのめされたとも言います。しかし思ったほど動揺していないことが伝わってきて、私もなんとなく落ち着きました。

キャシーは以前アメリカのクラブ向けの旅行代理店が FFI にあり、そこに長くいた人ですそれが無くなることになって FF を去ることになり、落胆していましたが丁度コーディネーターの空きをハリエットに言われそれに飛びついたという FF 大好きの人です。私よりずっと若いのですが、髪が白くてショートカットのところが似ているところから間違われたことがありお互いにマイシスターと呼び合っています。 このところのトップの盛んな交代でスタッフもカーターの名前で来ていた人とか、単なる仕事としてやっていた人などが抜けて、熱意も能力もあり性格のいい人たちが残っているような気がします。日本の担当デビー・パウエルさんも頭が良く反応も早くて明るい、しかも美人のすばらしい人ですね。ただ一人の男性ピーター・メイはメールでは几帳面で丁寧な人のようですがハンガリーの大会で

## 支援委員会：石井嗣代



アトランタ本部で働くデビー・パウエル。胸を張ってパソコンのキーボードを叩く姿は有名。

はのびのびと働いていました。そしてブラジル人のタリア、この人もきちんと仕事をしてくれる人で、デビーが留守の間彼女のメールをチェックしてくれています。スージー・ハリソン、この人も 4,5 年になります。私が 2 度目にアトランタに行った時は初めて会ったのにすぐに話しかけてきて、オフィスの案内をしてくれました。メアリーももう 3 年ぐらい働いているのでしょうか、ゆったりとした優しい人です。こうしたコーディネーターを束ねるのがもう 15 年以上いるハリエット・カーです。彼女は FF のことは知り尽くしている人と言っていいでしょう。第三者的な公正な判断の出来る人です。彼女がきちんと座ってオフィスで仕事をしている姿を見ると安心してしまう私です。コーディネーターからのたたき上げですが、なんでも相談できます。こういう人たちがきちんと仕事をしている。いつも人を探したり、訓練したりする必要がなく、今きちんと働ける人たちが確保されているのは心強いことです。そうして各国から選ばれた 12 人のボード委員会のメンバーがいます。

FF の楽しい、そして世界の平和につながる幅広い国際交流はこの人達の働きの上でこれからも続いていきます。新しいリーダーが決まるのを待ちましょう。

## イスラエル交換を終えて

### 新たな広がりを得て ED 大木捷代

“ 広島は日本のホロコースト、私たちにとっては最重要スポット、たとえ短時間であろうとも訪問したい、チャンスをください ” との熱い要望に突き動かされ、少々欲張ったプログラムとなりましたが、ホストをはじめメンバーの方々の多大なご協力のおかげで無事終わることが出来ました。感謝で一杯です。昨今のニュースに見る情勢から“ イスラエル ” と聞く度に、“ 大丈夫なの？ ” と危惧する気運を背に感じながらの受け入れ準備でしたが、空港で出迎えた瞬間から“ Face To Face ” の精神へと変化していきました。ED Daniel さんからは、愛知でのひとつひとつの出来事は私達の心のひだに刻み込まれ輝き続ける思い出です。皆さんによろしく。とお便りが届いています。



### To our friends in Aichi a warmest Shalom

We were very impressed from all we saw.

What we have seen was much more than the proof of the written in the books. We found a most developed country. **All of you Aichi** are kindly invited to see our small country and learn more about us, our life, not only through the TV. **Shalom**, and see you soon among us.

イスラエルの Amir Sigal さんからのメッセージより

### 旅行と文化 新居 正子

我が家のアンバサダーの趣味は、夫婦そろって旅行と文化。今回も出発ぎりぎりまで仕事をし、飛行機に飛び乗ったと言うことで、旅行は、文字通りさまざまな日常生活からの開放を願ったことのようにでした。TV の二ヶ国語ニュースを勧めても、「ノーサンキュー、ホリデーだから」という返事。でもさすがにハイファでの自爆テロの後にはシュムエルは、メールで一生懸命家族と連絡を取り合って安否を確かめていました。やはり忘れたくても忘れられない祖国の歴史と社会の現状を背に負っていたのです。片道 3 時間以上もかけて日帰りでも広島を訪れたことについても「ヒロシマは、行かなくちゃならないんだ。」と何度も言っていました。文化については、日本のすべてに興味があるようで、例えば箸、最初はうまく使えなかったオーラが、毎朝のメニューにある酢大豆で練習をして、ついにぬるぬるしたすだちの種まで摘み上げた時には、みんなで歓声を上げてしまいました。

### 初めてアンバサダーを迎えて 日比野みち子

英語力に自信のないまま、「何とかなるさー」と言う気持ちで迎えたカップル。彼らからの情報では脂肪や糖分は取らない。だから肉、卵、チーズ、バター、牛乳、砂糖も太るからだめだと書いてきていました。それらを使わないで、作る料理は難しい、山盛りのサラダとフルーツがメインのようなテーブル、それにパンをかじっての食事ではあの身体持つ筈がない。来た時のあの笑顔がだんだんと消えていった。三日目京都旅行の帰り、名古屋駅周辺で、食事をして帰ろうと他のメンバーと中華料理の店に入った。野菜たっぷり使った料理を選んでくれたらと思ってその店にした。その折の会話の中で自宅では気をつけているが外では何でも食べるのだと・・・その後はから揚げ、天ぷら、フライドチキンと肉攻めにしてしまった。あまり料理の得意でない私も精一杯心を込めて作り、それに笑顔を添えての奮闘に、来たときのような満面の笑顔を見せるようになりました。一週間は、あっという間に過ぎてしまいました。

**英語のヒント****加藤八郎****New Central Japan International Airport  
CENTRAIR**

CENTRAIR, the nickname of Central Japan International Airport, now under construction, is scheduled to open on February 17, 2005 just in time to welcome visitors to Expo 2005. The airport is a full-scale offshore and round-the-clock airport with a 3,500-meter runway on the airport area of 470 hectares or 1,170 acres. It takes only 30 to 40 minutes from the center of Nagoya, the capital of Aichi Prefecture, by train or car. CENTRAIR offers easy access as a new air gateway to Japan's central region.

**静岡クラブとの国内交流に参加して**

竹中ふみ代



あいにくの天気でしたが、FF 愛知のメンバー 25 人が遠足気分バスに乗り込みました。約 2 時間後静岡に到着。先ず吐月峰 柴屋寺へ、そこで静岡クラブの小川会長、鈴木さん達が出迎えてくださいました。柴屋寺は今川氏親に仕えていた連歌師、宗長が数々の功勞により与えられた庵であり、近くにある山から月が吐き出されるようになり、そのすばらしい眺めから吐月峰とも呼ばれるようになったとのお話でした。昼食には新鮮なお刺身、地元特産のとうろご飯に舌鼓。その後静岡会員の方のご好意でみかん狩りへ、なだらかな地に実もたわわな美味しいみかんをはさみで取らせていただきました。静岡クラブの方々の心

**カナダについてのワークショップ****大槻義壽**

12 月 6 日 FF 愛知のワークショップが盛大に開催された。11 月の静岡クラブとの国内交流に引き続き、今年のフィナーレを飾るにふさわしい多人数参加の盛り上がったワークショップとなった。成功の原因はカナダという美しく親しみのある国であったこと、講師が名古屋領事夫人であったこと、無料ランチ提供が魅力だったか？ 素敵な領事夫人の説明とクイズ、いろいろなカナダに関する資料を見せてもらった後、楽しいランチ、棚村さん製作のアンバサダー伝授の豪華な英国ケーキ、トライフルと恒例の加藤会長お手製のシホンケーキが彩りを添え、その日のハイライトとなった。

**クハスキー夫人から**

領事の代わりに皆様にお話させていただきましたが、暖かく迎えられ、親しくお話でき嬉しかった。これを機会に皆様と良い交流を持っていきたい。私どもの家（通称カナダハウス）を提供いたしますので是非来ていただいて親しくお話し合いの会を持ちたい。カナダでよく行われるポトラックパーティーなどはいかでしょうか。愛知万博ではカナダ館も予定されていますのでどうぞよろしくお願いします。

温まるおもてなしで、私達はとても楽しい一日を過ごすことが出来ました。ただこちらの時間の都合で会員の方々とゆっくりお話しする時間がなかったのはちょっと残念でした。でも来年は静岡クラブの方々が愛知クラブへ来ていただけるようなのでその時は皆さんといろんなお話をしたいと思っています。奈良クラブに次ぐ二回目の他クラブ訪問、国内交流は日本のメンバーとしての連帯感、親近感が強まり、クラブ内の親睦にも役立つとても良いイベントだと思います。手作りツアーも魅力のひとつです。今後もいろいろな形で機会あるごとに取り入れていただければ嬉しく思います

**FF の活動を通してのエピソード****トイレに落っこちたアンバサダー****佐藤公世**

今から十数年前、カリフォルニアからのカップルをホストした時のこと、娘がシティーマラソンに出ると話したところ、応援に行きたいと言うのでスタート地点の一宮の競輪場まで連れて行った。到着してすぐデービットがトイレに行きたいと言い出し、公衆便所に連れて行き、待っていたところ、会場整理の人が「外人さんを連れてきたのはあなたですか？彼がトイレに落ちました」との事。行ってみると膝から下が糞尿まみれ、奥さんはさっと遠くに逃げて知らん顔。仕方がないので公衆便所の手洗い場で糞尿をぬぐい落とし、家の車庫で洗車用のブラッシで洗い直し、風呂に入れて一件落着いた。彼はニコンの一眼レフを持ってきており、それも汚れてしまい、幸い精密ドライバーセットがあったので、出来るところまで分解してアルコールで洗浄したところ新品になったと喜ばれた。

**ユーモア****鷹野晴子**

E D の仕事では交流相手の ED との正確な情報交換が重要です。書類の交換で確認していくのが一般的です。過去の ED の交わした書類のファイルは大変参考になります。デンバー交換の ED 岩原さんのファイルはその厚さが 2 センチもあり彼の几帳面さがうかがわれます。私が初めて ED をした 1994 年のニュージーランド交換、1997 年のフロリダ交換の時はファックスを使いました。そしてインターネットの時代になった 1999 年ポーランド交換の時ワルシャワクラブの ED から“私はインターネットもファックスも使いません、郵便でやりましょう”と言われ、それに従いました。7 日以上もかかる郵便でのやり取りに、時にはストレスもあり、頼んであるアンバサダーのリストが一向に送られて来ないのについに電話をした

**東京・名古屋・鳥取のホスト同士の友達****西村貴美子**

東京クラブの葛ヶ谷喜美子さんを知ったのは 3 年前ロサンジェルス交流の時でした。その後ケーブタウンでも偶然同じアンバサダーをホストしました。彼女と私のファーストネームが同じで、来日前のメール交換でアンバサダー両 kimiko に混乱したエピソードがきっかけで時々メールを交換していました。今春アリゾナ交流で鳥取クラブの藤居あけみさんを知りました。ところでこの藤居さんと葛ヶ谷さんも交流で同じ人をホストして知り合いだったのです。葛ヶ谷 藤居、藤居 西村、西村 葛ヶ谷、と三角関係でつながっていましたが、お互いに面識がなく、メールだけの仲間でした。11 月 29 日葛ヶ谷さんの提案で彼女の家に合流しました。中華街で食事をしながら、お互いのクラブのこと、家族のことなど語り合い、再会を約し別れました。



時のこと、いらいらしている私の声に“すぐに送るよ、でもあなたの声はナイチンゲールのように美しいね”と穏やかな声で言われて、私はおもわずにっこり、優しい声に変わりました。“郵便では遅すぎるファックスで送ってほしい”という私の注文に電話会社の機械を利用してファックスが送られてきました。それにも遅れたお詫びと“ナイチンゲール”が書いてありました。

I must admit that I am enchanted by your beautiful voice, it sounded to me like a singing of a nightingale. Thank you.

彼はポーランドの長い苦悩の時代を生きてきた大学教授でしたがそれゆえにユーモアの精神を生活の中で大切にされてきたのだと感じました。

## ポーランドのクリスマス

リチャード・S (1999 年ポーランドワークショップの時の講師)



ポーランドのごく普通の家に生まれ育った私にとってクリスマスは人々の心の中に**愛と平和**があらためて生まれて来る時です。待降節に入るとクリスマスのクッキーを焼いたり、毎日が忙しくとても楽しいのです。部屋の中には大きなクリスマスツリーが飾られますがもっとも聖なる意味を強調しているのは樅の木の枝で作られたリース(輪)です。世界中の文化の中で「輪」は「終のない形」としてとらえられ、それは「愛」「守り」または「命」のシンボルとして使われています。特にクリスマスのリースは緑と赤の色を帯びて、家庭に新しい**希望と祝福**をもたらす意味を示

します。クリスマスイブはみんなでローソクの火を見つめながら、賛美歌を歌い祈りをささげます。そしてオプラテクという白いパンを互いの口に入れあって食べます。これは**愛と許し**をあらわすための非常に大切な事とされています。その後、食事を始めますがこの時テーブルには一つ余分の椅子が用意されています。子供の頃不思議に思って母に聞いたことがあります。それは旅人が何時訪ねて来ても暖かく迎え入れ食事を分かち合うためと考えられているものでポーランドの伝統的な習慣なのです。**メリー クリスマス!**

### 中部ブロック会議

加藤八郎

2003 年度中部ブロック会議が津市において 11 月 16 日(日)三重クラブの担当で、静岡、愛知、岐阜、三重、奈良、大阪、京都・福知山の各クラブの代表及び東京の支援委員会の石井さんが出席して開かれた。愛知クラブからは鷹野、岩月、加藤の 3 名が参加した。前以て各クラブから提出された事項について協議がなされた。各クラブの最も関心のあったのは、TFF 全日本連絡協議会[FFJ]の組織作りで、新しい組織が日本 FF 代表者 E-mail 会議でどんどん決まっていくのに危惧が抱かれた。新しい組織作りに反対するクラブが愛知、奈良、静岡、大阪、などあり、現在の代表者会議の機能をレベルアップすれば新しい組織を作らなくても良いとの結論になった。その他、クラブ間の交流について、受け入れ時の歓迎パーティーの費用について、ホストフィーの還元について、渡航 E D への還元について、役員の改選の仕方について、アクティブな会員を増やす方策についてなどが活発に話し合われた。

来年のブロック会議は大阪クラブの担当で 11 月に開催予定。

事務局だより

### 2004 年交換プログラム

受け入れ：Zagreb Croatia (5 月)

Lincoln USA (9 月)

渡航：North Moreton & Ipswich

Australia (10 月)

総会：1 月 17 日(土) 予定

正確な日時は後日連絡します

### 編集後記

2002 年から今回で 8 回目のニューズレターをお送りいたしました。パソコン上での製作になりましたので、一部の会員にはメールでお送りすることも出来ました。今後も同様な方法で製作されますので希望される方はお知らせください。来年からは新しいスタッフで皆様へ新しいニューズレターが送られます。今までの皆様のご協力、有難うございました。 広報委員一同

編集・発行

〒468-0045 名古屋市天白区野並 4-48

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・愛知

Tel: 052-895-4765 Fax: 052-895-5272